



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

腎臓内科

慢性腎臓病(CKD)の早期発見・ 早期治療のために 健診受診の重要性

慢性腎臓病(CKD)は今や国民の8人に1人が罹患している国民病です。

尿に異常がある(主に蛋白尿)②eGFR(mL/分/1.73m²)が60未満①②のどちらかが3か月以上続く時にCKDと診断します。eGFRとは推算糸球体濾過量のことであり血液中のクレアチニン濃度、年齢、性別から計算されます。eGFRは個人の腎臓の機能を表します。CKDの方は、CKDでない方と比べると末期腎不全(透析)、心血管イベント死亡、総死亡のリスクが上昇してしまいます。

自身がCKDであるかを調べるために、健診を受診する方法があります。健診にて行われる検尿検査および血液検査からCKDであるのかどうか分かります(図1)。腎臓は沈黙の臓器と呼ばれ、末期腎不全の状態になるまで症状が出にくいです。CKDに対しては様々なお薬があり(SGLT2阻害薬やRAS阻害薬など)、早期のCKDほど治療がしやすくなります。令和3年の大分県、および大分市における特定健診受診率は残念ながら低く(図2)、自身がCKDかどうか知る機会を逃している方が少なくありません。CKDの早期発見、早期治療のためにも是非一年に一回健診を受けましょう!

図1 CKDにおける健診での検査の意味は?

○尿検査

→主に**蛋白尿**の具合を知る。

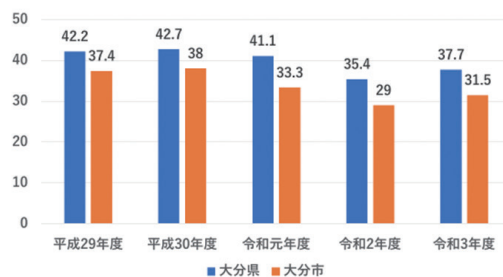


○血液検査

→**クレアチニン**を通して腎臓の機能を知る。



図2 特定健診受診率(市町村国保)



大分市からのご提供

(腎臓内科 福長 直也)



※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

(裏面をご覧ください)

耳鼻
咽喉科

アレルギー免疫治療について

くしゃみが止まらない、鼻水・鼻づまりで息が苦しい、目がかゆい・・・その症状、アレルギー性鼻炎かもしれません。アレルギー性鼻炎はスギ花粉症のような季節性のものとダニやハウスダストが原因となる通年生のものがあります。



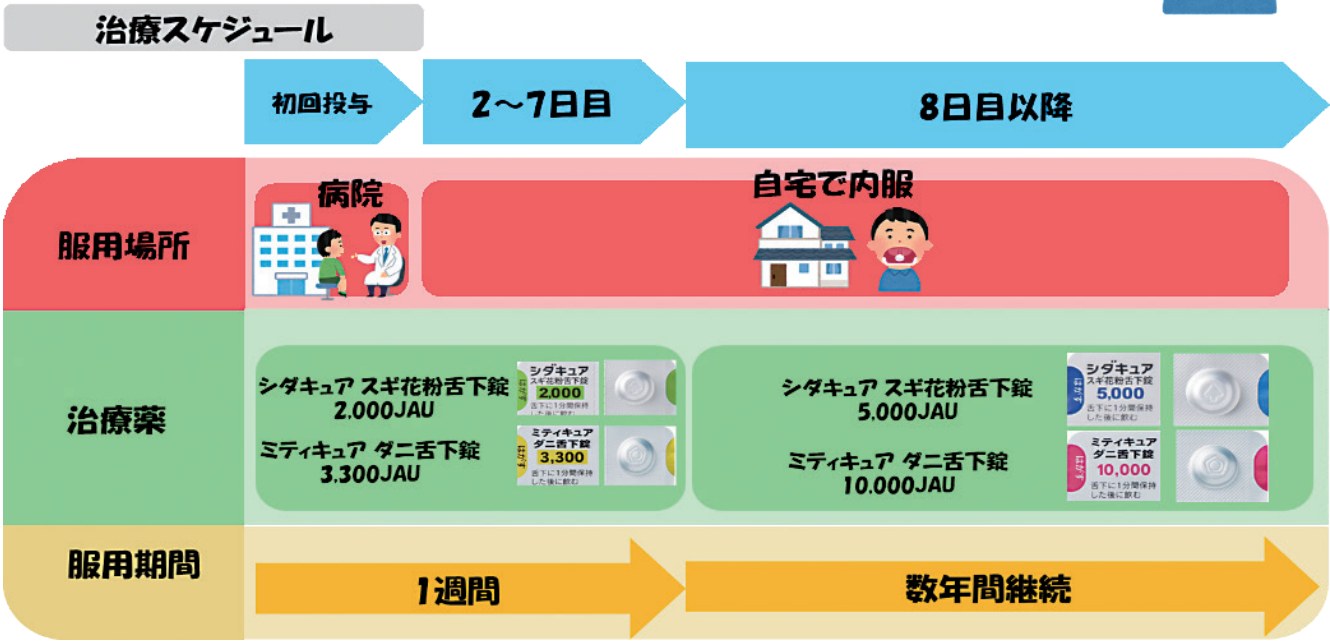
アレルギーの原因(アレルゲン)が特定できれば治療に移ります。検査は問診や血液検査で行います。

保存的な治療は症状をおさえる薬物療法とアレルゲンを少量から体に投与して体をアレルゲンに慣らしていくアレルギー免疫療法があります。保存的な治療で抵抗性の場合は手術を行います。アレルギー免疫療法のようにアレルギーの根治が可能な治療ではなく、症状改善が目的です。

アレルギー免疫療法には注射で投与する皮下免疫療法と舌の下で行う舌下免疫療法があります。1日1回、少量の治療薬から服用をはじめ、その後決められた一定量を数年間にわたり継続して服用します。



初めての服用は、医療機関で医師の監督のもと行い、2日目からは自宅で服用します。



長期にわたり、正しく治療が行われると、アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる効果が期待できます。

症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の減量が期待できます。

当院では薬物療法、舌下免疫療法、手術療法を行っております。

(耳鼻咽喉科 主任医師 合原 良亮)



看護師ほか医療スタッフの臨時職員を募集しています。詳しくはこちら